

白馬村観光地経営ビジョン 案

目標像の考え方

現計画(初期:2016年時点)の目標像:

恵まれた自然、山と雪が育む生活・文化を未来に残すマウンテンリゾート・HAKUBA

現計画(後期:2021年時点)の目標像:

「世界水準」のオールシーズン型マウンテンリゾート・HAKUBA



白馬村観光地経営ビジョン(2025年時点)の目標像(案):

※理想とする姿を因数分解して明確に示すことが必要

「白馬ならではの」を磨き上げることが、結果的に世界で唯一無二の地域へ

目標像:●●●(次ページ参照)

10年後の白馬は…

「白馬ならではの」
の魅力を
楽しめる仕組み
がある

四季・エリア
ごとに
バランスよく
来訪者が
訪れている

住民とゲストが
白馬らしく
アクティブで
上質な時間・
空間を共有
している

住んでよし・
働いてよし
が実現し、
働き手や
移住者が増加

観光客を受け
入れる体制が、
国際的に通用
する品質で整
えられている

質の高い滞在
を嗜好する
エシカルな
客層が集まり
消費額は向上

開発を誘導・
コントロール
しながら
質の高い空間が
できている

白馬村独自の
自然環境対策が
住民・事業者・
来訪者と共に
徹底されている

目標像案(議論のポイント①)

- ✓「世界水準」「持続可能」という言葉を入れるかどうか
- ✓ 重要な要素としては、住民、コミュニティ、誇り、白馬らしさ(ローカル)
- ✓ 誰もが覚えられるように、あまり長くない方がよい

- ① **世界水準の持続可能なオールシーズン型マウンテンリゾート・HAKUBA(第一弾案)**
- ② **類まれな山岳リゾートの価値を未来につなげ、地域の誇りを共創するマウンテンリゾート**
- ③ **地域社会と観光の調和による持続可能なオールシーズン型マウンテンリゾート白馬**
- ④ **持続可能なマウンテンリゾートコミュニティ・白馬
～住民とゲストが白馬らしさを共に創り、共に享受する世界に誇れる観光地～**
- ⑤ **住民とゲストが白馬らしくアクティブで上質な時間・空間を共有する
持続可能なマウンテンリゾートコミュニティ・HAKUBA**
- ⑥ **住民が誇りを持ち、未来へつなぐ、唯一無二のマウンテンリゾート・HAKUBA**

白馬村で生じている課題の整理

✓ 「持続可能性」の要素をJSTS-D(日本版持続可能な観光ガイドライン)の分類に基づき整理すると以下の表の通り。

JSTS-D(日本版持続可能な観光ガイドライン)についてはp11、12参照

分類	課題や脅威	→課題に対処できない場合の最悪シナリオ→	考えられる施策や方針
持続可能なマネジメント (住民、旅行者、財源、組織、プロモーション、危機管理)	外部事業者による無秩序な開発	乱開発が進み、白馬らしい雰囲気なくなる	適切な開発コントロール
	一部エリアの混雑や来訪者のマナー違反	来訪者の満足度低下	定期的なモニタリングの実施
	住民への発信や合意形成の不足	地価や家賃の高騰により住民が住みづらくなる	白馬ルール(仮)の策定
	災害の増加に伴うリスクマネジメント	住民への負担増や住みやすさの低下等により転出者の増加	インナーキャンペーンの強化
	財源不足	災害時の被災者の増加、住民への影響	行政と民間の役割分担の整理
社会経済 (事業者、経済効果、治安、受け入れ環境整備)	来訪者の増加によるインフラの不足	住民に負担がかかり不満増加	宿泊税を活用したインフラ整備
	地元事業者の体力低下・後継者不足	観光従事者減少、人手不足によるサービス悪化	夏季や西山以外のコンテンツ開発
	季節変動が大きく収入が不安定	事業承継希望者も減少	従事者の居住環境や労働環境改善
	地域内の経済波及効果が限定的 (外部流出?)	顔の見えない事業者・来訪者が増え治安が悪化	従事者の居住環境整備
	フリーライダーの増加		世界基準の観光地としての基盤づくり
文化 (文化遺産の保護・活用)	東山の文化や歴史が活用されていない	文化資源や集落の消滅	東山エリアの関係人口育成
	一部エリアでの住民と観光客との軋轢	白馬村らしい景観の減少	ガイド・インタープリター育成
環境 (自然遺産の保全、省エネ、廃棄物(気候変動))	自然を楽しむインフラ(登山道等)の維持管理	魅力の低下と観光客・住民離れ	CO2削減や廃棄物削減
	気候変動による自然環境の変化	利用者満足度の低下や事故の発生	宿泊税や寄付の実施による整備強化
		過度なOT報道により白馬が敬遠される	災害時の対応検討

※JSTS-Dでは複数の分類にまたがる項目等もあるが、混乱を避けるため一部調整。

**地域外からの投資や一部エリアの混雑など、白馬村観光が大きく揺らいでいるタイミング。
手遅れにならないように先手を打ちつつ、目標像の実現に向けた前向きな施策を実施していく。**